

学校は人が育つ所です。

「環境」が人を育てる。

「役割」が人を育てる。

「愛情」が人を育てる。

生駒北小中学校は、その三つの要素が整っている学校です。

新築された校舎の1階には大階段が設けられ、明るい大空間が広がっています。

この校舎は「伝統」と「先進」をコンセプトとして建設されました。

「伝統」については、は古くから茶釜の里として知られている高山を校区とし、茶室として使用できるおよそ30畳の和室が整備されています。

「先進」については、すべての普通教室に電子黒板とプロジェクターが設置され、さらにタブレット端末も配備されておりICT環境が整備されています。

また、開発が進む生駒市において学校周辺には豊かな自然が残されています。

このようなすばらしい「環境」の中、児童・生徒は楽しく学校生活を送っています。

子どもたちは、学級代表や児童会・生徒会役員、各種学級や学年で分担された当番活動などの「役割」に積極的に一生懸命に取り組んでいます。

また、小学生は中学生をあこがれの存在としてそれぞれの「役割」に取り組む姿を見て学んでいます。

そして、小学生も中学生も一つ上の学年を手本として、自分自身が「あこがれの存在」、「目標とされる存在」となれるように学習や行事を通して学び続けています。

1学期には入学式や部団会、2学期には運動会や文化発表会、避難訓練、3学期には修了式を小学生と中学生が合同で実施しています。

子どもたちの登校時には、学校周辺の横断歩道等に地域のボランティアのみなさんが安全に通学できるように立哨指導してくださっています。

茶釜や茶道など伝統文化の学習や色々な行事の折には、地域からたくさんの方々に来ていただいて体験的な学習を行っています。

このように地域の方々に惜しみなく注がれる「愛情」に育まれ子どもたちはやさしく伸び伸びと成長しています。このような地域の方々のご理解とご協力に対して、教職員一同深く感謝しております。

小学校と中学校の9年間の教育により、地域に誇りを持ち地域を愛する人として、将来の地域の担い手として子どもたち一人一人が成長していってくれることを願っています。



生駒市生駒北小中学校
校長 森 能 伸